

平成 23 年 4 月 28 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の
継続的な収集及び評価への反映等のための取組に基づく報告について（概要）

1. 検討内容

平成 22 年度における国の機関等の報告、学協会等の大会報告・論文、雑誌等の刊行物、海外情報等の公開情報を収集対象として、そのうち原子力施設の耐震安全性に関連する可能性のある情報を選定し、原子力施設への適用範囲・適用条件、耐震安全性評価への反映の要否等の観点から、検討・整理を行いました。

なお、3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に係る知見については、今後明らかになる内容を検討・整理した上で、反映すべき新知見については適宜対応することといたします。

2. 検討結果

東北地方太平洋沖地震に係る知見以外の情報について検討・整理した結果、原子力事業者に通ずる情報（以下、「共通情報」という。）及びリサイクル燃料備蓄センター固有の情報（以下、「個別情報」という。）については、いずれも「反映が必要な新知見情報」はありませんでした。

(1) 共通情報

共通情報に関して、原子力事業者間で検討・整理した結果、「反映が必要な新知見情報」はないものと判断しました。

(2) 個別情報

個別情報に関して検討・整理した結果、「反映が必要な新知見情報」はないものと判断しました。

以上